

marie claire

▶ marieclairejapon.com

ニューサイトが
スタートしました!

30th September, 2021

No.153



Emotional Moment

秋の気配を感じて

本サービスを利用した営利目的の活動行為、
あるいは本サービスを通じて入手した情報を
複製、販売、出版その他
私的利用の範囲を超えて使用する行為の
一切を禁止します。



Welcome to marie claire vol.153

2

年ぶりに開催された今年のカヌ国際映画祭で脚本賞を受賞した濱口竜介監督の『ドライブ・マイ・カー』を久しぶりに“映画館”で観ました。コロナ禍のため、なかなか映画館で観るといふ気持ちにはなれませんでした。村上春樹さんの原作を世界的な評価を受けている濱口竜介監督がどのような形で映画化したのか、とても興味を惹かれたからです。本誌前号でも、主人公の家福役を演じた西島秀俊さんのインタビュー記事を掲載しているので、そちらも読んでいただければと思います(marieclairejapon.comではインタビュー動画も公開中)。

この映画は村上春樹さんの短編小説集『女のいない男たち』(文藝春秋)の中に収録されている「ドライブ・マイ・カー」「木野」「シェラザード」の3編をベースに作られています。大胆に脚色されています。上映時間は179分。最近では珍しく長尺な映画ですが、テンポがよく、長いと感じることはありませんでした。

映画では、抱えていた秘密もわからず突然逝ってしまった妻への喪失感を持ち続ける俳優・演出家の家福と、彼のドライバーになる、やはり自分の母親の死に責任を感じるみさきが同じ時間を過ごしなが、徐々に他人を受け入れ、自分も受け入れる過程を淡々と描き、2人が再生していく様を描いています。特に舞台となる広島から、みさきの故郷である北海道に車で向かい、移り行く風景や多くのトンネルを通過する場面は美しく、2人の静かな、徐々に変化していく心の動きが感じられ、とても好きなシーンでした。

この映画で使われる車は真っ赤な「サーブ900ターボ」。小説の中では同じ「サーブ」なのですが、黄色のカブリオレ(屋根がフルオープンになるタイプ)です。

「サーブ」はスウェーデンの航空機メーカー、サーブ・スカニア社の自動車部門の名前でした。この900シリーズは1978年から1993年まで販売されましたが、その後GMの傘下に入ったりなどの紆余曲折があり、現在では完全消滅してしまった車ブランドです。実は私も「サーブ900S」、その後「サーブ9-5」を愛用していたこともあり、とても思い入れのある車です。特に洗練されたデザインというわけではなく、航空機のコックピットを連想させる湾曲したダッシュボード、ドライバーズシートを向いたメーター類、コンソールボックスの下部にあるイグニッションキーの位置などインテリアが独特で、ほかの車にはない雰囲気を醸し出していました。マンハッタンのエリートカップルを皮肉を込めて描いたウディ・アレン監督の映画『夫たち、妻たち』(1992年)にも登場していて、プレッピーの車を代表するものとしてニューヨーカーに人気がありました。

原作者・村上春樹さんは車雑誌で試乗レポートも書かれているほど、車への愛情が深くこだわりのある方だと思います。『騎士団長殺し』(新潮社)では、重要な登場人物の一人である免色渉の乗っている銀色の「ジャガー」スポーツクーペの詳細な記述もあります。同様に車好きの私が「ドライブ・マイ・カー」について感じたのは、家福の車はやはり原作に忠実に黄色のカブリオレを使ってほしかったなと。家福というどこか他人を寄せ付けず、雰囲気を醸し出す男にはやはり黄色のカブリオレだと、直感的に思っていました。黄色のカブリオレは軽快さやスポーティーさとともに車への強いこだわりと孤独な矜りもイメージとして観る人に与えると思うからです。車に対しての家福のパーソナルな思い入れをもう少し感じられたらと思いました。

それほど車というのは、映画の中で大事なポイントを持つものだと思うのです。

印象に残っているのはフランソワーズ・サガン原作の『ブラムスは好き』を映画化した『さよならをもう一度』(1961年 監督アナトール・リトヴァク)です。年上の女性(イングリッド・バーグマン)に恋する、裕福な母親と暮らすアメリカ人青年(アンソニー・パーキンス)が運転していた「トライアンPTR3」。イヴ・モンタン演じる恋人と別れた後、イングリッド・バーグマンが涙で曇った視界をクリアにするため、ワイパーを思わず動かす演出は、この映画の名場面として話題になりました。

ほかにもブリジット・バルドーが最盛期を過ぎたファッションモデルを演じた『セシルの歓び』(1967年 監督セルジュ・ブルギニョン)があります。ピエール・カルダンの純白の衣装を着たバルドーが、彼女に思いを寄せる地質学者の青年(ローラン・テルジェフ)の運転する「ミニ」でロンドンからスコットランドへドライブ旅行に出かけますが、初秋のスコットランドのヒースの丘を走る真っ赤な「ミニ」がとても美しく撮影されていました。

極め付きは1966年のカヌ国際映画祭でグランプリを受賞したクロード・ルルーシュ監督の『男と女』でしょう。この映画の主人公は「フォード」のワークスドライバー。モンテカルロ・ラリーで優勝した後、恋人役のアヌーク・エーメに会うため、ラリーで使った泥だらけの白い「マスタング」を駆ってモンテカルロからパリまで寝ずに運転します。数年前、舞台となったドーヴィルの町を訪れ、映画と同時代の「マスタング」が何台か走っているのを見た時、映画で使われる車の印象、影響力は、とても強いのだなとあらためて感じました。

2021年9月30日

田居克人
Katsuto Tai, marie claire 編集長

ニューサイトがスタートしました!

marieclairejapon.com



Welcome to Our Site!

Contents

- 7 Welcome to marie claire /
- 8 Cover Story: Nana Seino /
- 11 Style Picks: Camel Chic /
- 13 Style Picks: Shearling Shoes /
- 15 fashion story: Emotional Moment /
- 20 TORY BURCH /
- 22 BOUCHERON /
- 24 CIVIDINI /
- 25 LOUIS VUITTON /
- 26 The footprint of beauty on the earth /
- 27 Beauty: Essentials for Your Skin /
- 28 MENARD TK /
- 31 Jewelry: REPOSSI, shop list

cover

photo: Hiroshi Manaka
styling: Ayaka Endo
hair & make-up: Hitomi Mitsuno
direction: Gen Yoshida
jacket, tops, hair accessory, earrings, necklace, ring: Versace

marie claire

2021年9月30日発行 第10巻 第8号(通巻153号)

発行人 Publisher:
安部順一 Junichi Abe

編集長 Editor in Chief:
田居克人 Katsuto Tai

副編集長 Deputy Editor in Chief:
高橋直彦 Naohiko Takahashi

アートディレクター Art Director:
木村裕治 Yuji Kimura

クリエイティブディレクター Creative Director:
菊池直子 Naoko Kikuchi

ビジネススペシャリスト Business Specialist:
斉賀明宏 Akihiro Saiga

編集部 Editorial Team:
部長 Manager:
横山恵子 Keiko Yokoyama

大林理子 Riko Obayashi
高波麻奈美 Manami Takanami
菊池美裕紀 Miyuki Kikuchi
阿部美侑加 Miyuka Abe
柳澤梨奈 Rina Yanagisawa

パリ特派員 Paris Correspondent:
須山佳子 Keiko Suyama

デザイン Design:
木村裕治 Yuji Kimura
佐藤 幹 Miki Sato

発行 Publication:
読売新聞東京本社
〒100-8035 東京都千代田区大手町1-7-1
tel: 03-6739-6303
THE YOMIURI SHIMBUN

記事制作 Production:
中央公論新社
〒100-8132 東京都千代田区大手町1-7-1
tel: 03-5299-1810
CHUOKORON-SHINSHA, INC.

印刷 Printing:
共同印刷
KYODO PRINTING CO.,LTD

MARIE CLAIRE INTERNATIONAL

Executive director:
Jean de Boisdeffre

Deputy director:
Félix Droissart

Deputy director (marketing and special operations):
Nicia Rodwell

International editorial director:
Séverine Harzo

International fashion and beauty chief editor:
Sylvie Halic

International commercial director:
Elodie Bretaudeau Fontailles

International deputy commercial director:
Elisabeth Barbier

Syndication director:
Thierry Lamarre

©MARIE CLAIRE ALBUM 2021
©THE YOMIURI SHIMBUN 2021
本誌掲載の記事・写真、イラストの無断転載を禁じます。

※本誌に掲載されている商品の価格は
特記されている場合をのぞき、すべて税込みです。

牡牛座taurus 4月20日→5月20日★リラックスマードで過ごす時。こつたらいなと思つた時。なぜそれを望むのかを深掘りする。ホツとした、気分よくなりた、という心に行き着き、幸せレベルが高まります。

牡羊座aries 3月21日→4月19日★今の気分を意識を向ける時。今この瞬間はどんな気分?自分がどう感じているかに意識を向けて現在の自分に気づく習慣は、現実を自分の思う通りに創る秘訣でもあります。

Nana Seino

挑戦し続けることで耀く女優、清野菜名の魅力

Cover Story

photos: Hiroshi Manaka
styling: Ayaka Endo
hair & make-up: Hitomi Mitsuno
direction: Gen Yoshida
text: Masami Shimura



コート¥445,500 ニット【参考商品】 スカーフ¥59,400 ヘアアクセサリー¥33,000 バッグ¥188,100 ポーチ(左)¥38,500 (右)¥28,600 ストラップ¥48,400(すべてヴェルサーチェ/ヴェルサーチェジャパン)

オリジナリティ溢れるデザインで人を惹きつける「ヴェルサーチェ」。イタリアが誇るラグジュアリーブランドのひとつとして、世界中に多くのファンを持っている。そんな中、日本のユーザーとのコミュニケーションをより深めるため、「ヴェルサーチェ」初となる日本のブランドアンバサダーとして女優の清野菜名を迎え入れた。親しみやすい笑顔と凛とした美しさを兼ね備えた彼女こそ、「ヴェルサーチェ」が求めている現代のミュージックが持つべき特徴を体現しているという。今回の起用に喜びを隠せない清野は、そのときの思いをこう語る。

「ヴェルサーチェは、大人の女性が似合う特別なブランドというイメージだったので、最初にお話をいただいたときはすごく驚きました。でも、ヴェルサーチェファミリーの一員になれたこと、そして日本でブランドの代表を務められることをとてもうれしく思います」
2021年のプレフォールキャンペーンに続き、今回は2021年秋冬のキャンペーンで、ブランドのクールなイメージを披露し、清野のさらに新しい魅力を印象付けている。
「コレクションを身に着けた瞬間、今まで自分にはなかったカッコいい女性に

NHK連続テレビ小説『半分、青い』やドラマ『今日から俺は!!』に出演し、人気を博している女優・清野菜名。演技はもちろんのこと、アクションのできる女優としての立ち位置も確立。若手女優の筆頭としてさらなる活躍に期待が高まっている。飾らない人柄で、幅広い層から愛されている清野とコラボレーションを実現したのは、イタリアのファッションブランド「ヴェルサーチェ」。新たな出会いに込められた思い、そして人々を魅了する理由に迫る。

なれたので、ヴェルサーチェを通して新しい自分を表現することができたんじゃないかなと。普段のお仕事では役を演じることが多いので、自分を表現しながら服も表現していくというのはすごく新鮮なことでした」

今回のキャンペーンに参加する過程では、新たな発見もあったと付け加える。「カジュアルなテイストからラグジュアリーなものまで、幅広くスタイリングできるのがヴェルサーチェの魅力。大人の女性だけではなく、私の年代の女性でも楽しめる服やバッグ、シューズといった色んなアイテムがたくさんあることを知り、今まで抱いていた印象が大きく変わりました」

自身のInstagramでは、さまざまなファッションを楽しむ姿をアップしている清野。そこには、自分なりのこだわりがあると教えてくれた。

「まず基本としているのは、動きやすいスタイルであること。なので、私はパンツスタイルが多いですね。服や小物は、直感で選ぶことがほとんどですが、それだけでなく、本当に自分がいいと思うものだけをきちんと見極めて購入するようにしています」

そんな感性の高い清野にとって、「ヴェルサーチェ」のラインナップは感性を刺激するものばかりだが、そのなかでもお気に入りのアイテムがあるという。

「私がよく使っているのは、ベルトバッグ。両手が空きますし、ちょっとした外出時にも便利なんですよ。ヴェルサーチェのメンズのベルトバッグは、見た目以上の収納力があって、カラーもヴィヴィッドでかわいいので愛用しています」

清野といえば、キレのあるアクションを得意としていることでも知られているだけに、ファッションにも動きやすさや身軽さを重視しているのは頷ける。そして、そういった日々の積み重ねが彼女の糧となっているのかもしれない。まもなく27

歳の誕生日を迎える清野は、来年でデビューから15周年。着実にキャリアを築いていくなか、仕事に対する思いも加速する。

「私が大切にしているのは、好奇心を持ち、常に挑戦し続ける姿勢でいることです。作品によって求められるものや、関わる方々も違いますが、どんなときでも求められている以上のものを見せていきたいと思っています」

彼女のアクションを見れば、その裏でどれほどの練習を重ねてきたかは一目瞭然だが、目指す場所にたどり着くための努力は惜しまない。

「将来的な目標は、海外の作品に出演すること。そのために今は英語を勉強したり、アクション技術を高めるトレーニングに励んだりしています。自分のレベルを上げるために必要なことは、これからも継続してがんばってきたいです」

10月からは、主演を務めるTBSのラブコメディドラマ『婚姻届に判を捺しただけですが』がスタート。キャリアアップを夢見ながら独身を謳歌している「イマドキ女子」のヒロインを演じる。本作でも、清野のキュートな魅力全開で誰もが虜になってしまうはずだ。まだまだ計り知れない可能性を秘めている女優・清野菜名。幅広いジャンルをフィールドに、これからは私たちを楽しませてくれる存在として、高みを目指して羽ばたいていくに違いない。



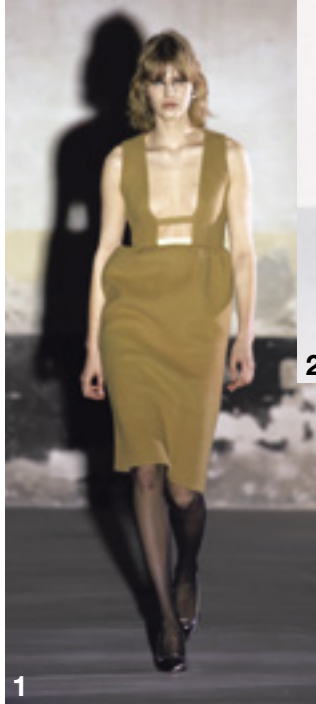
10月スタートのTBS火曜ドラマ(毎週火曜よる10時)『婚姻届に判を捺しただけですが』のヒロインを清野菜名が務める。清野が演じるのは独身を謳歌している27歳の大加戸明葉(おおかた・あきは)。その相手役には坂口健太郎が決定。即席の偽装夫婦が織りなすラブコメディが描かれる。清野がTBSの火曜ドラマでヒロインを務めるのは本作が初となる。今から放映が待ち遠しい!



アンバサダーに選ばれた清野菜名が纏う「ヴェルサーチェ」の2021年秋冬コレクション。ブランドのアイコン「グレガ」モチーフを3Dでモダンに再解釈した新作柄のアイテムが、清野のモードな表情を引き出して。(表紙) ジャケット ¥454,300 ニット ¥80,300 ヘアアクセサリー ¥27,500 ¥33,000 イヤリング ¥28,600 ネックレス ¥40,700 リング ¥48,400 (P8) ニット シャツ ¥223,300 ベスト ¥94,600 パンツ ¥147,400 バッグ ¥143,000 リング ¥48,400 (すべてヴェルサーチェ/ヴェルサーチェジャパン)

獅子座 6月23日→8月22日★自分であることに喜びを感じる時。他人との比較を手放せば、自分が唯一の存在であることに気づいて胸を打たれるはず。エネルギーに満ち溢れています。そのままの自分で大丈夫。

蟹座 Cancer 6月22日→7月22日★愛する自分を楽しむ時。仕事を楽しみ、家庭に身を預ける癒やしの感覚。これらは愛することをしている自分に心地よさを感じている証拠。これをベースに豊かさは拡大していきます。



2



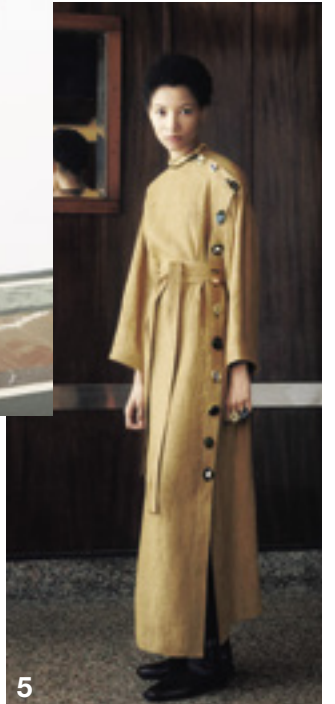
3



4



5



9



8



7



6

Camel Chic

この秋はキャメルカラーを全身で纏う

Style Picks

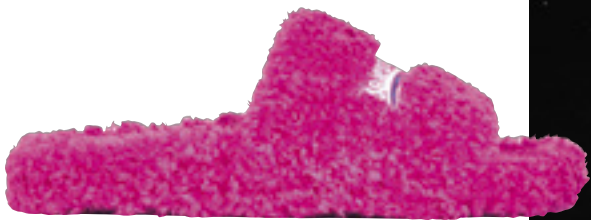
text: Tomoko Kawakami

秋らしさが倍増するカラー「キャメル」。今っぽく旬なムードに仕上がる
洗練のワントーンコーディネートにトライ!

1.N°21 ミニマルで官能的なデザインドレスもキャメルなら上品さがぐっと増す。ドレス¥176,000(ヌメロ ヴェントゥーノ/イザ) 2.Bottega Veneta 光沢感のある上質なスエードにクリスタルで輝きのアクセントを添えて。コート¥1,925,000 パンツ¥946,000 セーター¥137,000 ミュール[参考色]¥121,000 イヤリング¥95,700(すべてポッテガ・ヴェネタ/ポッテガ・ヴェネタ ジャパン) 3.Hermès タイムレスなスタイルを深みのあるダークなキャメルカラーに統一することで一層モダンに。コート(ストール付き)¥1,364,000 スカート¥332,200 ブーツ¥279,400(すべてエルメス/エルメスジャポン) 4.Tod's ブラックのバイピングを利かせたキャメルカラーのコートが主役。小物を黒で統一してスタイリッシュなコーデに。コート¥179,300 バッグ[W44×H26×D16]¥328,900 パンプス[H6]¥86,900(すべてトッズ/トッズ・ジャパン) 5.Tory Burch クリーンなシルエットが映えるキャメルカラーのリネンドレス。サイドに飾ったアーティなボタンが際立って。リネンドレス¥110,000 ブーツ¥88,000 ネックレス¥44,000(すべてトリー パーチ/トリー パーチ ジャパン) 6.Civadini 異素材の組み合わせも、キャメルのワントーンで洗練された印象に。コート¥297,000 ブラウス¥132,000 カーディガン¥143,000 パンツ¥143,000 バッグ[W26×H19×D11]¥209,000(すべてチヴィディーニ/三崎商事) 7.Fendi クロップドニットやショートパンツなど旬のアイテムに、キャメルのコートを合わせてトレンド感とエレガンスを同時に叶えて。コート¥1,375,000 ニット¥129,800 ショートパンツ¥104,500 バッグ[W32.5×H23.5×D15]¥396,000 別売りのチェーンストラップ¥121,000(すべてフェンディ/フェンディ ジャパン) 8.Max Mara タイムレスな魅力を纏う「マックスマラ」らしい王道のコートスタイル。ゆったりとした袖のラインやベルトマークで今年らしいフォルムに。コート¥430,100(マックスマラ/マックスマラ ジャパン) 9.The Row リラックス感があるシルエットとリクスな素材にキャメルカラーがベストなマッチング。ジャケット¥486,200 コート¥621,500 シャツ¥250,800 ニット¥134,200 パンツ¥332,200(すべてザ・ロウ/ザ・ロウ・ジャパン)

ニューサイトがスタートしました!

marieclairejapon.com



左 Chanel コート¥1,229,800
 ブルオーバー¥215,600 トップス¥211,200
 ジャージトップス¥257,400
 ジーンズ¥374,000 イヤリング¥73,700
 ネットレス¥1,249,600 ブーツ¥257,400
 (すべてシャネル/シャネル カスタマーケア)
 右 Fendi ブルゾン¥902,000
 バッグ[W33.5×H25.5×D13]¥715,000
 シューズ[H9.5]¥187,000
 (すべてフェンディ/フェンディ ジャパン)

Shearling Shoes

秋一番の足元はシアリング素材のシューズに決まり!

Style Picks

text: Tomoko Kawakami

今秋、スニーカーに代わる最旬アイテムとしてチェックしたいのがシアリング素材のシューズ。

表情豊かなモコモコ素材に癒やされながら、モードなインパクトもゲット。

1.Chanel ボリュームたっぷりのファーに視線が集中! モトーンのコンビでシックな印象に。ブーツ[H4]¥257,400(シャネル/シャネル カスタマーケア) 2.Dior シアリングが主役のサンダルで足元に程よい抜け感を演出。ラバーソールで歩きやすさも◎。サンダル¥127,600(ディオール/クリスチャン ディオール) 3.Fendi "F"の文字をあしらった構築的なヒールと、モコモコ感が愛らしいアッパーのハイブリッドな組み合わせに注目。シューズ[H9.5]¥187,000(フェンディ/フェンディ ジャパン) 4.Chloé ウェーブを模したソールがアイキャッチ。カーフスキンの優しい肌触りに心まで満たされる。サンダル¥89,100[参考価格](クロエ/クロエ カスタマーリレーションズ) 5.Jimmy Choo ソフトなフェイクファーと煌めくクリスタルのコントラストが新鮮! シューズ¥130,900(ジミー チュウ) 6.Tod's 人気の"トッズ コンミニ ケイト"も優しいカラーと素材で今の気分アップデート。シューズ¥105,600(トッズ/トッズ・ジャパン) 7.Miu Miu ボリュームミニアリアリングのブーツは存在感抜群。毛足がカーレルしたチャーミングな表情に釘付け! ブーツ[H1]¥163,900[予定価格](ミュウミュウ/ミュウミュウ クライアントサービス) 8.Hermès アッパーに"H"を飾ったアイコン的なサンダル"オラン"もローズカラーのシープスキンで愛嬌たっぷり。サンダル[H2(実寸)]¥117,700(エルメス/エルメスジャパン) 9.Coach ワンマイルスタイルにもおすすめのスリッパタイプ。シグネチャーパターンとシアリングが好相性。シューズ¥35,200(コーチ/コーチ・カスタマーサービス・ジャパン) 10.Balenciaga アッパーのロゴとビビッドなピンクのフェイクシアリング素材がキャッチーなデザイン。サンダル¥63,800(バレンシアガ/バレンシアガ クライアントサービス)

ニューサイトがスタートしました!

marieclairejapon.com

Chanel

スキーリゾートの雰囲気と1970年代のクールなパリジャンシックが調和した「シャネル」の今秋冬プレタポルテコレクション。ガールズナイトのような生き生きとしたデジタルショーの演出も印象的だった。ガウンを思わせるリラックス感漂うツイードコートとスカートのセットアップは、煌めく刺繍使いがアクセントに。シフォンドレスをレイヤードした着こなしも新鮮。コート¥1,387,100 ドレス¥199,100 トップ¥125,400 スカート¥1,343,100 イヤリング¥182,600(すべてシャネル/シャネル カスタマーケア)

Emotional Moment

秋の気配を感じて

fashion story

photos: Yusuke Miyazaki (SEPT)
styling: Tsuyoshi Noguchi
hair: Yusuke Morioka (eight peace)
make-up: Nobuko Maekawa (perle management)
model: VIKTORIIA (Tokyo Rebels)
direction: Naoko Kikuchi

不安な時代の中でも、ファッションは未来へと前進している。いよいよ2021-22年の秋冬シーズンがスタート。今季はリラックス一辺倒ではなく、デザイナーたちの希望が宿るエモーショナルな提案が目を引く。こんな時だからこそ、大胆なデザインやカラーで遊んだり、未知のスタイルにトライして、自由にファッションを謳歌!



Dior

「ディオール」の今季は、幻想的なおとぎ話からのインスピレーションに、メゾンのアイコンや高度なテクニクをちりばめて現代のスタイルへと昇華。パフスリーブのブラウスに、ペプラムビスチェとチュールフリルのスカートを重ねたスタイルは、まさに「不思議の国のアリス」の世界を表現しているかのよう。シャツ ¥198,000 ビスチェ ¥330,000 スカート ¥638,000 イヤリング ¥77,000 ネックレス ¥627,000 ヘルム ¥90,200 シューズ ¥193,600 (すべてディオール / クリスチャン ディオール)



Chloé

新クリエイティブ・ディレクターのガブリエラ・ハートが初めて手がけた「クロエ」の今秋冬コレクションは、環境や社会貢献を意識したものが注目を集める。リサイクルカシミアのニットを使用したロングドレスは、カラフルなストライプで彩られ、フィットしたシルエットが美しい。同素材のバケットバッグとフラットサンダルを合わせ、モードな仕上がりに。ドレス ¥255,200 バッグ ¥207,900 シューズ ¥92,400 (すべてクロエ / クロエカスタマー・リレーションズ)



Fendi

「フェンディ」の新アーティスティック・ディレクターに就任したキム・ジョーンズによるファーストコレクションは、実用的な日常をラグジュアリーへとアップデートした、新たなイタリアンエレガンスを提案。上質感溢れるキャメル色のダブルフェイスのコートは、クロップド丈のシルクシャツとショートパンツを合わせ、フレッシュな表情溢れるコーディネートに。コート ¥902,000 シャツ¥151,800 パンツ¥104,500 ストッキング¥29,700 イヤリング¥68,200 [単体売り] チョーカー¥113,300 (すべてフェンディ/フェンディ・ジャパン)

ニューサイトがスタートしました!

marieclairejapon.com



Louis Vuitton

イタリアのデザインアトリエ「フォルナセッティ」とのコラボレーションにより、過去から未来へと時空を超えるストーリーを描いた今季の「ルイ・ヴィトン」。パステルカラーのナイロンパーカは、ライニングに映くメタリックなマテリアルに目を奪われる。円形のポケットが印象的なニット、ロマンティックなボリュームのチュールスカートを合わせ、大胆なミックススタイルを楽しんで。フルゾン¥1,067,000 ニット¥443,300 [参考色] スカート¥621,500 ピアス¥51,700 (すべてルイ・ヴィトン/ルイ・ヴィトン クライアントサービス)



どんなスタイルとも 好相性のTモノグラムバッグ

ダブルTロゴが目を引きアイコン的なTモノグラムを、ジャカードで丹念に仕上げた人気コレクションに、今秋冬、新作が仲間入り。上質なレザーでトリミングを施したバケットバッグはロコクの留め金がアクセント。また、16世紀の航海時代に使われていたバッグをモダンにアップデートしたバレルバッグも注目。「どんなスタイルにもマッチするタイムレスなデザイン」とトリーもイチ推しのコレクション。バッグ(右左)「Tモノグラム ジャカード バケットバッグ」[W21×H21×D12] (右下)「Tモノグラム ジャカード バレルバッグ」[W25×H18.5×D16] 各¥78,100(ともにトリー パーチ/トリー パーチ ジャパン)



TORY BURCH トリー・バーチ

「トリー・バーチ」会長兼チーフクリエイティブオフィサー。2004年にブランド「トリー・バーチ」を創設し、ニューヨークファッションウィークで毎シーズンコレクションを発表。2009年には、「トリー・バーチ財団」を設立し、女性の社会進出と起業を支援している。

2004年にニューヨークで誕生したブランド「トリー・バーチ」。デザイナーのトリーは、アメリカを代表するソーシャライトの一人でもある。デビュー当時から、彼女自身のスタイルや感性を強く反映した物作りを継続し、今を生きる女性たちの目々に寄り添いながらもタイムレスでモダンなデザインを得意としている。洗練された暮らしを好んだトリーの両親のエフォートレスな装い、そして世界中を旅し

TORY BURCH

女性たちに自信と夢を与え続ける「トリー・バーチ」

さまざまなシーンに彩られた女性たちのワードローブに欠かせないブランド「トリー・バーチ」。働く女性で、ソーシャライトでもあるデザイナーのトリー・バーチが、自身にとって特別な街、ニューヨークに捧げる最新作を発表した。世界的に困難な状況の中で、トリーが感じたこと、そして気持ちも新たにデザインした新作について、インタビューを交えながらご紹介。

photos: ©TORY BURCH
text: Tomoko Kawakami

Interview

世の中への貢献や還元もブランドの重要なファクター

て出会ったアートやインテリア、さらにさまざまな女性たちに刺激を受け、ウェアやジュエリーだけにとどまらず、化粧品やホームウエ

アまで幅広く展開。そんなトリーが2021年秋冬のテーマに掲げたのがブランドの原点でもある街、ニューヨークだ。「いつもインスピレーションを与えてくれる街。大学を卒業して以来ずっと住み続けており、子育てもして、会社も設立した場所です。このコレクションは、私に多くを与えてくれたこの街への感謝の気持ちを込めたラブレターのようなものです」と語るトリー・バーチ。

今年8月には、ニューヨークのマーサー・ストリートに新店舗もオープンさせた。「この場所は2004年、私が最初にブティックをオープンしたエリザベス・スト

リートから徒歩5分圏内なので、ホームタウンに戻ってきたような感じがします」。この新店舗では、「International Center of Photography (国際写真センター)」とタッグを組み、そこに所属する4人の女性芸術家の作品も展示。ソーシャライトとしても活躍するトリーらしく、地元への貢献も大切にしている。

もちろん2009年に設立した、夢を持つ女性たちの社会進出や起業を支援する「トリー・バーチ財団」の活動も続けている。「世の中への還元は、常に私たちのビジネスプランの一部で、女性起業家に資本や教育、コミュニティ、デジタルリソースを提供するプログラムを展開しています。バンク・オブ・アメリカと提携した資本プログラムでは、3,500名以上の女性起業家へ6,500万ドルの低利融資を行うなど、会社

を成長させ、拡大するように導くサポートをしています」

広い視点で自らのビジネス、そして女性たちの未来を見据えているトリーもやはり新型コロナウイルスの影響で、その歩みをスローダウンすることを余儀なくされた。しかし、ここに来て、嬉しいニュースが発表される。控えていたランウェイショーが2022年春夏コレクションを機に再開された。「コロナ禍で私自身、家族やチームが健康でいられることに改めて感謝するようになりました。ビジネスも今までは異なる視点での創作や創造について考えるように。仕事への取り組み方も変化し、柔軟性の大切さを学びました。ファッションショーは、いつもエネルギーをくれます。新店舗のあるマーサー・ストリートでのショーの開催は素晴らしい機会となりました」

New Handbags & Footwear

幸運を引き寄せるスニーカーで運氣アップ

欧米では、頑丈で簡単には割れない鳥の胸骨に由来し、幸運を招き、願いが叶うといわれる「ウィッシュボーン」。幸運のシンボルに魅力を感じるというトリーが、そのラッキーモチーフをアウトソールにデザインしたのが最新作のスニーカー「グッドラックトレナー」だ。身につけた人がグッドラックを掴み取るための歩みを導くという意味が込められている。ボリューム感のあるソールに足首を優しく包む構造。「快適な履き心地とスタイルアップも叶えてくれます」とトリーのお墨付きの1足だ。スニーカー「グッドラックトレナー」各¥44,000(すべてトリー パーチ/トリー パーチ ジャパン)

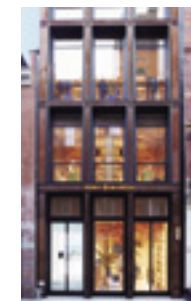


New Store Opening マーサー・ストリートにオープンした こだわり溢れる新旗艦店

今年8月26日、おしゃれなショップやホテル、レストランが立ち並ぶニューヨークのマンハッタン・ソーホー地区の中心部、マーサー・ストリートに新店舗がお見え。インテリアデザインに精通するトリーらしく、細部にまでこだわりがちりばめられ、女性アーティストやローカルな職人による作品も積極的に取り入れられている。ニューヨークブランドとして地域に貢献したいという思いが詰まったスペシャルな店舗が誕生した。

TORY BURCH Mercer Street

151 Mercer Street
New York, NY, 10012
tel: +19172617172



2021 Fall Collection ニューヨークが着想源のミックス&マッチスタイル

2021年秋冬コレクションは、トリー・バーチの拠点、ニューヨークの街からインスピレーションを受け、アメリカンラグジュアリーとスポーツウェアのモダンさを融合。「女性たちのリアルなファッションに基づいています」とトリーが語るように、自由自在にレイヤードを楽しめる、ウェアラブルな仕上がりが魅力。(左)ジャケット¥94,600 スカート¥62,700 シャツ¥47,300 プルオーバー [参考商品] バッグ¥110,000 ブーツ¥94,600 (中)ドレス¥55,000 プルオーバー¥51,700 ネックレス [参考商品] ベルト¥27,500 バッグ¥110,000 シューズ¥58,300 (右)ジャケット¥62,700 パンツ¥62,700 シャツ¥36,300 ベルト¥30,800 バッグ¥59,400 クロップ¥47,300 シューズ¥41,800(すべてトリー パーチ/トリー パーチ ジャパン)



PRISM

プリズムが生み出すダイナミックな光の戯れ

光を自在に操る建築家ルイス・バラガンや現代アーティストのオラファー・エリアソンの作品に着想を得た「ホログラフィック」コレクション。「プリズム」とネーミングされた作品は、ホログラム効果を使ったロッククリスタルとダイヤモンドの層が光の束となり、戯れるようなユニークな輝きを生み出すデザイン。ドロップモチーフのロッククリスタルを用いたリングは、ハベリオン部分にわずかな刻みを入れることで光を分散させ、吸い込まれそうなダイナミックな煌めきを表現している。「プリズム」[ホログラフィック ロッククリスタル×WG×ダイヤモンド]リング¥10,890,000 プレスレット(写真下)¥31,944,000[ともに予定価格](ともにブシュロン/ブシュロン クライアントサービス)



LASER

クールな輝きを増幅させるホログラフィック

いつの時代も画期的なアイデアと匠の技術で、ジュエリーの可能性に挑み続けてきた「ブシュロン。」「ホログラフィック」コレクションでは、高温で溶かしたメタルをセラミックやロッククリスタルにスプレーすることで、自然が生み出す光をファンタジックに再現している。メゾンの人気コレクション「セルバン・ボエム」のアイコンックなドロップモチーフを再解釈した「レーザー」は、ホログラフィック セラミックで縁取られたアクアマリンが放つ、ラズーのような煌めきを魅惑的。「レーザー」[アクアマリン×ホログラフィック セラミック×WG]イヤリング¥21,780,000 ネックレス¥50,820,000[ともに予定価格](ともにブシュロン/ブシュロン クライアントサービス)



BOUCHERON

多彩な光を表現したハイジュエリーコレクション 「ホログラフィック」誕生

「光と色」をテーマに誕生した、「ブシュロン」の最新ハイジュエリー「ホログラフィック」。虹やオーロラなど、自然が生み出す一瞬の儂い煌めきを永遠の美へと昇華したクリエイションは、希望のオーラのような多幸感に満ちている。

text: Makiko Awata
PG=ピンクゴールド、WG=ホワイトゴールド

1858年にフレデリック・ブシュロンが創業した「ブシュロン」は、「ジュエリーの聖地」として知られるパリ・ヴァンドーム広場にブティックを構えた最初のハイジュエラー。自由で大胆なスピリットのもと、創業当初から時代を先取りする革新的なスタイルを生み出し、瞬く間に世界のトップジュエリーの地位を確立した。熟練の職人技に裏打ちされた唯一無二のクリエイションは、世代を超えて受け継がれ、継ぐ人をより自由に、美しく輝かせる。



OPALESCENCE

オパールの世界から現れた優美な魚

躍動感あふれるフィッシュモチーフが印象的な「オパレスセンス」、クチュールのように優雅なヒレはブリカジュール技術で創られ、光を透過して透明感ある煌めきを強調する。虹色に揺らめく71.69ctのオパールを抱くネックレスは、ブローチとしても着用できる伝統のマルシェアジュエリー。大胆なボリュームで耳元を飾るシングルイヤリングとともに、メゾンが誇るサヴォワール フェールを見事に体現する逸品だ。「オパレスセンス」ネックレス(写真はブローチとして着用) [ホワイトオパール×ホワイトオパール×PG×ホワイトラッカー×ダイヤモンド]¥100,320,000 イヤリング[オパール×ピンクラッカー×PG×ダイヤモンド]¥31,944,000 [ともに予定価格](ともにブシュロン/ブシュロン クライアントサービス)

CHROMATIC

幻想的な美しさを放つ大輪のシャクヤク

メゾンが大切にしているテーマのひとつ、「自然」を称えた「クロマティック」のフラワーリング。ホログラフィックコーティングしたホワイトセラミックの花びらは、本物のシャクヤクの花びらを一枚一枚キャンすることで、ありのままの美しさを忠実に再現したもの。華やかに咲き誇る大輪のリングは、センターストーンに光が反射し、まるで楽園ながらの虹色の世界を描き出す。「クロマティック」リング 左 [ピンクトルマリン×ホログラフィック セラミック×PG×チタン×ダイヤモンド]¥15,972,000 右 [アクアマリン×ホログラフィック セラミック×WG×ダイヤモンド]¥10,890,000[ともに予定価格](ともにブシュロン/ブシュロン クライアントサービス)

HOLOGRAPHIC

進化し続ける
ドラマティックな
光の魔法

光の当たり方や角度によって、絶え間なく色彩が変化するジュエリー。アトリエに差し込む太陽光と影の構造を研究して生まれたという作品は、光に導かれたグラフィカルな造形美が圧巻だ。ホログラムでコーティングされたロッククリスタルプレートを縁取るのは、無数に煌めくバグエダイヤモンド。見るたびに表情を変える、ドラマティックな光の世界に陶酔。「ホログラフィック」ネックレス [イエローサファイア×ホログラフィック ロッククリスタル×WG×ダイヤモンド]¥71,280,000 プレスレット [ピンクトルマリン×ホログラフィック ロッククリスタル×WG×ダイヤモンド]¥40,656,000[ともに予定価格](ともにブシュロン/ブシュロン クライアントサービス)

CIVIDINI

「チヴィディーニ」の上質で軽やかな秋

素材の魅力を引き出す卓越した技術とオリジナリティあるデザインが魅力のイタリアブランド「チヴィディーニ」。2021-22年秋冬コレクションから、エレガントかつコンフォートな旬アイテムをピックアップ。

photos: Asa Sato (still) / text: Asaka Ikeda



左 ホワイト×ローズウッドカラーのチェック柄が印象的なピーコートは、真っ白なブラウスとバミューダパンツを合わせてクリーンに着こなして。コート¥396,000 ブラウス¥102,300 バミューダパンツ¥132,000 中ジャケットの胸元にあしらったペーパー素材の黒いバイピングがアクセント。モダン&エレガントなプリーツスカートで女性らしさを添えて。ジャケット¥352,000 ブラウス¥102,300 スカート¥132,000 右 リブニットを襟や袖、フロント部分にあしらった異素材ミックスのスタンドカラーコート。シェイプされたウエストにはスタイルアップ効果も。同系色のパンツと合わせて、シックなスタイリングに。コート¥297,000 パンツ¥143,000(すべてチヴィディーニ/三崎商事)



Brand Story

革新と品質のよさが宿る
モダンなイタリアブランド

ピエロ&ミリアム・チヴィディーニにより、1983年にイタリアで創業された「チヴィディーニ」。ブランドの原点はハンドクラフトと現代技術の融合。得意とするニットウェアをはじめ、着心地がよくアーティスティックなデザインが特徴のトータルルックを提案し、ミラノでコレクションを発表。トレンドに左右されない自立した大人の女性から高く支持されている。



秋の装いをアップデートしてくれる最新作

1. ラマウールを使用したグレーのモヘアが優しい肌触りのフード付きコート。両サイドにスリットの入ったワイドシルエットは、ゆったりとした着心地でインナーとのレイヤードも楽しめる。コート¥352,000 2. 上質感漂うカシミア×ウールのピーコート。ミニマルで美しいシルエットが魅力。コート¥286,000 3. キルティングとリブニートを組み合わせたホワイトのロングコート。スタイリングに合わせて調整可能なダブルジッパー仕様。コート¥319,000 4. ボーダーのカラーブロックがレトロ&モダンな魅力を際立てるニットワンピース。ウエスト部分をリボンで絞るとフィット&フレアなシルエットが完成。ワンピース¥154,000 5. 希少な編み機で一枚ずつ編まれた「ファットアーマー」のハイネックニット。モヘアやアルパカ、キャメル、ウールなど、様々な素材をミックスした遊び心あるニュアンスが印象的。ニット¥132,000 6. 水彩画のような花柄が目を引く一着。付属のボウがアクセント。ニット¥165,000(すべてチヴィディーニ/三崎商事)

SHOP LIST

三越日本橋店 tel: 03-3271-1300 / 日本橋高島屋 tel: 03-3272-0232 / 高島屋新宿店 tel: 03-5361-1341 / 小田急百貨店新宿店 tel: 03-3340-5730 / 東急百貨店渋谷本店 tel: 03-3477-3317 / 西武渋谷店 tel: 03-3462-3462(代表) / 横浜高島屋 tel: 045-412-3636 / 札幌三越 tel: 011-231-8820 / 名鉄百貨店本店 tel: 052-585-2606 / 松坂屋名古屋店 tel: 052-264-2062 / 大丸神戸店 tel: 078-331-5900 / 京都高島屋 tel: 075-252-7446 / 阪急うめだ本店 tel: 06-6313-0503 / 高島屋大阪店 tel: 06-6631-1658 / 福屋八丁堀店 tel: 082-246-6772 / 大丸福岡天神店 tel: 092-724-3107 / 小倉井筒屋 tel: 093-541-6650

LOUIS VUITTON

アーティストの世界観を表現した夢のバッグ 「アーティーカプシーヌ コレクション」最新作



「ルイ・ヴィトン」は、気鋭の現代アーティスト6人とのコラボレーションによるバッグ「アーティーカプシーヌ コレクション」を発表する。今回で第3弾となるこのコレクション。アーティストの創造性と職人技を駆使したスペシャルなバッグに目を奪われる。

2021年10月末に全世界のルイ・ヴィトンストアで発売予定の「アーティーカプシーヌ コレクション」。
バッグ各¥1,072,500 [限定各200個・左から3番目、5番目: BB (W27×H18×D9cm)
左2点、4番目、6番目: MM (W31.5×H20×D11cm)]
(すべてルイ・ヴィトン/ルイ・ヴィトン クライアントサービス)

Arty Capucines

現代アーティストの創造性とメゾンの職人技の共演

2013年に登場して以来、「ルイ・ヴィトン」のアイコンバッグとして、タイムレスなデザインで高い人気を誇る「カプシーヌ」。そのバッグを現代アーティストたちが再解釈して誕生したのが「アーティーカプシーヌ コレクション」だ。この試みは2019年にスタートし、これまで12種類のデザインを展開。今年の最新作で第3弾となる。

今回は、世界的に活躍する著名な6人の現代アーティスト、グレゴール・ヒルデブランド、ドナ・ファンカ、黄宇興(ファン・ユウシン)、ヴィック・ムニーズ、パオラ・ピ

ヴィ、曾梵志(ゾン・ファンジー)が参加し、6作品が制作された。

彼らは、「カプシーヌ」を真っ白いキャンバスに見立て、それぞれの独創的な世界観を表現。そのアイデアを実際の製品に仕上げるために、メゾンの熟練した職人の創意工夫と究極のクラフツマンシップが存分に生かされ、今回も見事なコレクションが誕生した。

1854年の創業以来、長きにわたってアートと深い関係性を築いてきた「ルイ・ヴィトン」のクリエイションへの熱い情熱が、このバッグを通して感じ取れるだろう。

©PIOTR STOKLOSA
©THOMAS LOHR



Gregor Hildebrandt

グレゴール・ヒルデブランド

●1974年ドイツのパート・ホンブルク生まれ、現在ベルリン在住のグレゴール・ヒルデブランド。レコード盤や、オーディオテープを用いたコラージュ、絵画、彫刻、インスタレーションで知られている。ヒルデブランドによる「カプシーヌ」は、中古の録音テープの磁性粉塵を用いたモノクロームを、バッグのレザーにスクリーンプリントで表現。LVイニシャルには本物のレコード盤がはめ込まれ、バッグの底面やストラップに用いられたパテントレザーはVHSテープを思わせる。



©PIOTR STOKLOSA

©THOMAS LOHR



Donna Huanca

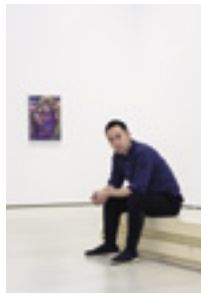
ドナ・ファンカ

●1980年シカゴ生まれ、米国とボリビアで育ったドナ・ファンカ。身体と皮膚の可能性に対する深い関心を出発点として、絵画、彫刻、映像、サウンド、香りを包含する「体験」を作品として発表している。今回のコラボレーションでは、絵画と女性の体を追求した彼女の2点の絵画、「Cara de Fuego」と「Muyal Jol」に基づいた絵の具使いを、3Dプリントと3種類の刺繍技法を用いて表現。その後、刺繍に手描きを施し、ファンカの原作の筆致が持つレイヤー効果と、青と白の複雑な絡み合いを再現している。ハンドルを支える金属製フープはボディピアスを思わせるもので、女性の体に対するファンカの美学的こだわりがここにも見て取れる。



©PIOTR STOKLOSA

©JIN JIA JI



Huang Yuxing

黄宇興 (ファン・ユウシン)

●緻密なテクニックと、際立って大胆な色、幻想的なビジョンによる印象的な作品を描く黄宇興。彼が表現した色鮮やかな「カプシーヌ」は、自身の2019年の絵画「The Colossus Hidden Deep in the Hills」(丘の奥に隠された巨像)がベースとなっている。まずホワイトグレー・レザーにプリントされた後、グレーの糸で刺繍が施され、遠近感を演出。虹のような山並みにも刺繍を用い、躍動感を与えている。金属製のLVイニシャルが、刺繍の虹に呼応する鮮やかなエナメルで彩られているのも印象的。



©PIOTR STOKLOSA



©JIN JIA JI

ニューサイトがスタートしました!

marieclairejapon.com

ムッシュ ディオールの思いに導かれて 「ディオールビューティー」 地球に刻む美のフットプリント

幼い頃からグランヴィルの庭園で

母親と園芸を嗜み、自然と人間の調和を何よりも大切にしてきたクリスチャン・ディオール。

地球に暮らす人の命題として

1947年のメゾン創業から現在に至るまでの

70年以上、持続可能なあり方を問い続けてきた

「パルファン・クリスチャン・ディオール」の哲学と

レガシーを、ムッシュのメッセージとともにひもとく。

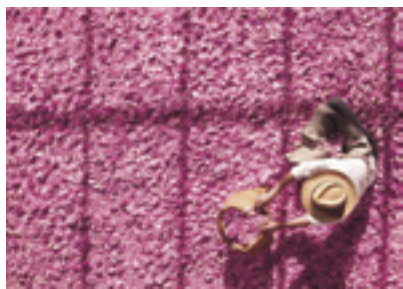
text: Nathalie, Satsuki Tadokoro



「自然に従えば、大きく間違えることはありません」—— Christian Dior

Respect for Nature 自然を讃えるディオール ガーデン

店頭に並ぶフレグランスやコスメティック。それがどんな原材料を用いて、誰の手により、どんな工程を経て生み出されているのか。真のラグジュアリーを求めるとき、それは欠かせない視点だ。「自然のルールが保たれてこそ、生態系の調和が生まれる」。ムッシュディアールの哲学を70年以上にわたって体現し続けているのが、原材料の供給源となるディオール ガーデン。有機農法に加え、近年では土壌の修復、生物の多様性拡大などを目指す再生農業へとシフトしている点も注目したい。



Respect for Tradition 伝統を守り、技術と知識を次代につなぐ

卓越した技術や知識を持つ最高の職人たちの情熱を、自身のメゾンで生かし



続けることを課したムッシュ。その精神は、ディオール ガーデンにおいても継承されている。例えば、香水に不可欠なローズは、産地ガラスの農園と提携することで、高品質な原材料の調達を実現。土地の性質を知り尽くす地元の生産者と長期的なパートナーシップを結び、自然に寄り添う栽培法や伝統製法を守り続けている。それが、地域の発展につながる好循環を生み出すのだ。

Respect for Beauty 人々が追求める美に、責任を持つ

「美しさは、良いものでなければならない」。それは、ディアールのDNAに組み込まれた信念。原材料と製法が、肌へのせきたときに最高水準の効果をもたらすだけでなく、安全性においても疑問の余地が

ないものであること。そのために、600以上に及ぶ分析方法を用いるなど、徹底した品質の検証を行っている。2020年には、発売された製品における自然由来成分の割合は80%に到達。これは、長年にわたるたゆまぬ努力と叡智の蓄積があるからこそ、達成できる数字だ。



Respect for Women クリエイションの中心にいる女性たち

女性の社会進出が声高に唱えられる、ずっと以前。1947年のメゾン創業以来、ムッシュのアトリエで主要なポジションを得ていたのは、女性だった。スタジオマネージャーやアトリエディレクターをはじめ、意思決定に携わる彼女たちが、メゾンの発展を支えてきたのだ。そして現在、誇り高き女性を讃えるムッシュの思いは、女性アーティストたちとコラボレートした取り

組みや、アフリカの少女たちの教育支援プロジェクトなど、多彩なアクションへとバトンをつないでいる。



いまを生きる女性に、 美しさと幸せをもたらす香り

ムッシュにインスピレーションを与えていた、妹・カトリーヌ。彼女の愛称を冠したメゾン初のフレグランス「ミス ディオール」は、時代の女性像に合わせて進化し続けている。2021年9月発売の「ミス ディオール オードゥ パルファン」。ボトルの首元に結ばれたリボンが、一つずつ手作業で織りあげられ、オートクチュールドレスと同等のクリエイティビティと技術を要する、まさに数センチのラグジュアリーだ。一方で、ガラスの重量を30%減少させたサステイナブルなパッケージを採用。メゾンの重要な課題であるエコデザインへの取り組みも牽引している。



愛と希望に満ちた新たな息吹を感じる香り。ミス ディオール オードゥ パルファン 30mL ¥9,350、50mL ¥13,750 / パルファン・クリスチャン・ディオール

Essentials for Your Skin

最新エイジングケアを厳選 パワーアイテムで 肌をリニューアル Beauty

text: Kiriko Sano

秋の訪れとともに、肌をリニューアルする
主役級のスキンケアが出揃った。
確かな実感がある注目の新作について、
トータルビューティアドバイザーの
水井真理子さんが解説。

今 シーズン、名品の刷新から時代
に沿った提案まで、ニュースが目
白押し。プロが注目するポイントは? 「秋冬
は、夏のダメージをケアしながら、栄養を
与えるエイジングケアが主流に。筆頭は、
満を持してリニューアルしたコスメコロ
テのリポソーム美容液。ベーシックだから
こそ、しばらく使わないと「肌が物足りない」
と感じさせる魅力が。また、マスク生活の影
響もあってか、洗顔料が豊作。ポーラは洗
顔料でありながら、パック的な機能を持つ
のがユニークです。その流れで、注目パー
ツの「目もと」のケアがトレンドに。ディオールの
独自の applicator や、センサイの
2品セット+手技は先進的。秋冬は悩みが
出やすいからこそ、「効かせるスキンケア」
を楽しむチャンス。まずは好みの1品を見
つけて、肌変化を感じてみて」(水井さん)

MARIKO MIZUI (トータルビューティアドバイザー)
女性誌やwebを中心に幅広く活動。エステティックをもとにした
美容アドバイスにも定評がある。

水瓶座aquarius 1月20日→2月18日★素直に願う時。遠慮はりません。安心や幸せな気分をベースに、解放感の中で願います。願いをノートに書くのもよし。願いが叶った未来の自分に合わせていきましょう。

山羊座capricorn 12月22日→1月19日★心の制限を外してみる時。制限がなかったら何をしたいか? 幸せを先取りして妄想を楽しみましょう。目の前の小さな幸せにも敏感になり、幸せな現実創造の達人になります。



5種のヒアルロン酸で
ぎゅっと「詰まった」肌へ
リプラスティブロ フィラー
コンセントレート
美容医療発想で、肌本来のハリ、ツヤ感を追求する美容液。
50mL ¥46,200(公式オンライン
先行発売中、10/1全国発売)
/ヘレナ ルビンスタイン



「温×冷」の2品でつくる
シャープな眼差し
センサイ
トータル アイトリートメント

「美肌菌」集中ケアで
健やか&安定肌
ジェニフィック アドバンス
バイオセルローズ マスク
ぶるぶるとしたシートが特長。肌の
菌バランスを整え、季節の変わり
目のゆらぎ対策にもふさわしい。
1枚入り ¥1,540/ランコム



しほみ感に働きかける
エアリーな乳液
ザ・ハイドレイティング
インフューズング エマルジョン
ブランドを代表する成分、ミラクル
プロス™に加え、海藻、ソイ プロテ
イン配合でたっぷり肌に栄養補
給。50mL ¥14,850、125mL ¥
33,000/ドゥ・ラ・メール



複合的&深刻な
目もと悩みを救う
プレステージ
マイクロ セラム ド ローズ ユー
先端のセラミック パールでマッ
サージュできる高機能プレアイケア。
20mL ¥24,200/パルファン
クリスチャン・ディオール



ローズの恵みが
「若さスイッチ」をオン
アブソリュ
インテンスシブエッセンス
美肌の源であるタンパク質を活
性化。輝きを放つフレッシュなハ
リ肌を実現。30mL ¥44,000/
ランコム

フランキンセンスの
生命力で「上向き肌」
フランキンセンス
インテンス リフトセラム
オーガニック植物のパワーで肌を
上向き印象に。ブランド最高峰の
贅を尽くした美容液。30mL ¥17,
600/ニールズヤードレメディーズ



29年の時を経て
名品がついに進化
リポソーム
アドバンス リベアセラム
美容成分をカプセル化して肌に
届ける処方。1滴あたり1兆個を
肌に届け、肌を立て直す。50mL
¥12,100/コスメデコルテ



糖化ケアできる
マスク洗顔料
B.A
ディーブクリアライザー
塗ってマッサージしてから洗い流
し。ごわつきや黄ぐすみのもととな
る角層をまとめてオフできる。120
g ¥13,200/ポーラ



硬くなりがちな
大人の肌
にうるおいを届ける
エレメンタリー
フェイシャルエマルジョン
有機栽培による国産のバラ葉と
米麹を掛け合わせた独自成分
が、優れた保湿力を発揮。とろけ
る質感で肌がしっとり柔らかに。
75mL ¥22,000/ITRIM



More beauty
オイルルージュ&
フェイスパウダーで
美肌印象を後押し

健やかな肌づくりに加えて、美肌印象を際立たせるリップ&肌を守りながら美しく見せるフェイスパウダーも。1 エナメルのように輝くオイルルージュは、唇の動きに合わせてしなやかにフィット。健康的なピンクと、リップケアとしても使えるイエローが揃う。TK エナメルルージュ (左から)23,60CF 各¥3,300 2 独自の米デンパンパウダー**を配合。粉体の中に“空間”を作ることで、マスク生活で悩ましい「摩擦」を和らげ、うるおいをキープ。TK ビューティキープフェイスパウダー ¥3,850

**2 コメデンパン、タルク(すべてメイクアップ効果)



MENARD TK

自分の肌が愛おしくなる「TK」のしあわせスキンケア

“おうち時間”が増え、これまでよりも肌に向き合う時間が増えた昨今。スキンケアをすることが癒やしのひとときになっている人も多いのでは？
うるおいと心地よさを追求したメナードの「TK」グループで、もっと“自分が愛おしくなる”肌へ。

photo: Eri Hosomi / text: Kiriko Sano

Touch of kindness I

「ガーデニア」*がもたらす 美しいキメとうるおい

誰もが憧れる、“美しい肌”。でも、“美しい肌”っていったいどんな肌？メナードは私たちが漠然ととらえているものを、サイエンスをもって解き明かした。その研究によれば、美しい肌=表面のキメが整っていることが鍵だった。キメが整った肌はうるおいで満たされ、なめらかで、美しいという。そこで、独自の「ガーデニアエキスSP®」を開発。うるおいケアを一から見直し、新しいアプローチを生み出したのだ。また、ガーデニアの持つふくよかな香りを、植物を傷つけない独自の手法で採取・再現。その手の込んだプロセスからも、丁寧なものづくりの姿勢が窺える。

※加水分解クチナシエキス(保湿成分)

Touch of kindness II

“上質で心地よい”を目指す テクスチャー

実際に「TK」グループに触れて驚くのが、そのテクスチャーの上質さ。するするとのびるクレンジング、クリーミーでなめらかな泡の洗顔料。化粧水からクリームに至るまで、重ねることが楽しくなるような触感。肌は喜び心地よさ。使う人への思いやりをテクノロジーで実現しているのも、このグループの魅力のひとつ。例えばクレンジングは、メイクとなじむとふっと指が軽くなり、このタイミングを洗い流すサインとして設計。使いやすさを徹底的に追求するところに、メナードらしさを感じられる。

Touch of kindness III

年齢の枠にとらわれず 万人に愛される“心地よさ”

本来、スキンケアは楽しく心地よくあるべきもの。丁寧なお手入れをするたびに癒やされ、しあわせな気持ちになり、自分のことをもっと大切にしたいくなる。そんな“いいサイクル”を生み出すことを目指した「TK」グループは、年齢にかかわらず誰でも使える懐の深さを持つ。サステナブルな時代の流れに合わせて、説明書を省き、使い方を外箱にプリント。無香料タイプも選べて、香りにデリケートな人にも配慮するなど、多くの人が続けたい“心地よさ”が込められている。そのほっとする心地よさに、一度触れれば、きっと手放せなくなるはずだ。

“キメが整ったするとなめらか肌”へ導く、心地よい6品

1 洗い流しのサインがわかるクレンジング

メイクアップ料と素早くなじみ、すっきり落ちて肌がうるおう、クリームタイプのクレンジング。なじませるうちにテクスチャーがほぐれて、ふっと軽くなったら洗い流しのタイミング。ふきとりで使えるのも便利。TK クレンジングクリーム 130g ¥2,750

2 クリーミーな泡でしっとり洗う贅沢

心地よい泡で汚れをすっきりと落とす洗顔料。軽く泡立てるだけで、キメ細かくクレンジングミミ泡が作れる。肌を優しく包み、うるおいのあるなめらかな肌に洗い上げる。TK ウォッシングクリーム 130g ¥2,750

3 マッサージで心地よく肌をとらえる

夜の洗顔のあとに使う心地よいマッサージクリームで、よりなめらかな肌を目指して。指すべりが一定に保たれ最後まで心地よくマッサージができる。洗い流しとふきとりのどちらでもOK。TK マッサージクリーム 80g ¥3,300



4 柔らかかなとろみがみずみずしい潤いへ

とろんとして“肌そのものになるかのような”角質層へのなじみのよさが特長。肌に触れると決してベタつくことなく、スツとみずみずしい潤いに変わる感覚が新鮮。ゼヒコットン使いで体感を。TK ローション 150mL ¥3,300

5 水のような軽さを感じられるミルク

ベタつかず、みずみずしく軽やかなつけ心地にこだわったミルクローション。肌に溶け込むようになじむ“保湿の膜”が、肌を穏やかに守ってくれる。ローションのあとに使用。TK ミルクローション 100mL ¥3,300

6 おやすみ中の肌のみずみずしく

重たさを感じないのに、おやすみ中の肌を深いうるおいで満たしてくれる、いい意味での“ギャップ”が魅力。みずみずしさを感じるクリームが、するとなめらかな肌へ導く。TK クリーム 30g ¥4,400

※掲載商品はメナードフェイシャルサロンで購入できます



“ベルベル”コレクション誕生10周年 時代を超越したジュエリーを 創造するガイア・レポシ

text: Asaka Ikeda
PG=ピンクゴールド、WG=ホワイトゴールド



GAIA REPOSSI | ガイア・レポシ

「レポシ」クリエイティブ・ディレクター。父アルベルトより「レポシ」を引き継ぎ、21歳で3代目に就任。近現代の建築やアートから着想を得たタイムレスかつアヴァンギャルドな新しいジュエリーのスタイルを提案し、世界中のファンを魅了している。

1 1957年にイタリア・トリノで創業し、パリ・ヴァンドーム広場に本店を構えるジュエリーメゾン「レポシ」。3代目のガイア・レポシが、今年10周年を迎えたメゾンを代表する“ベルベル”コレクションの魅力を語ってくれた。「就任後、初めて発表したコレクションですが、このリングは過去と未来の要素を

併せ持ったタイムレスなデザインが最大の特徴です。象徴的なスタッキングスタイル（レイヤードスタイル）は、その後のコレクションにも取り入れられ、メゾンのシグネチャーになりました。「レポシ」らしい美的感覚に基づいた革新的なアイデアや伝統、クラフトマンシップが過去と現在を繋ぎ、私たちの考えるニュークラシックと

モナコ公室をはじめ世界中の高感度な人々に愛用されているジュエリーメゾン「レポシ」。クリエイティブ・ディレクターのガイア・レポシが、10周年を迎えた自身初のコレクション“ベルベル”について語る。



上・左から“ベルベル”10周年限定 ベルベル・クロマティックリング [PG×WG×ダイヤモンド×ラッカー] ¥498,300 [オーダー制、完全受注生産] “ベルベル”10周年限定 ベルベル・クロマティック 東京エ디션リング [PG×ダイヤモンド×ラッカー] ¥438,900 [日本限定、オーダー制、完全受注生産] [ともに2021年末まで限定発売] “ベルベル”クロマティック 2連リング [PG×ダイヤモンド×ラッカー] ¥438,900 ベルベル3連リング [PG] ¥249,700 右 ベルベルモジュール2連リング [PG×ダイヤモンド] ¥379,500 (すべてレポシ)

なっているのです」。民俗学や建築、アートから着想を得て誕生したシンプルかつ洗練されたデザインの“ベルベル”コレクションは、時代を超えて愛され、ベストセラーに。男女問わず、自分らしいスタイルを楽しむ人たちに愛されている。

10周年を祝して発売された限定リングは、“ベルベル”の普遍的なスタイルと新たな魅力を楽しめる特別なデザイン。

「一番の魅力は、70年代に習得した技法で当時流行していたラッカーを用いたことです。さらに、ブラックゴールドの細いラインを正確に仕上げるには、職人の熟練された技術が必要です。地金は適度な光沢感がある絶妙なバランスで、より洗練された印象に昇華しています。また、鮮やかな抹茶グリーンカラーの東京エディションは、茶道と日本の自然美から着想を得たものです。肌によく馴染む独特なグリーンの色合いを見ると、茶道への情熱、竹林や桜の葉の美しさ、健康的な和食など、さまざまな日本の素晴らしさを思い出させてくれるので、とても気に入っていま



す」
2020年は仕事とプライベートのバランスをとり、クリエイターとして大切なことを思い出すことができたと言ったガイア氏。「今、世界が直面していることに、ファインジュエリーというものを通して何ができるのかを考えました。その答えはまだ模索中ですが、解決策の一つは、無駄を省き、よりよいものを提案することだと思います。今起きていることを受け入れて、2021年は新しくダイナミックな提案をしていきたいと思っています」

レポシ公式HP: <https://repossi.com/>
MITSUKOSHI ISETAN オンライン:
<https://repossi.norenoren.jp/index.php>
伊勢丹新宿店本館4階=ジュエリー/
レポシ tel: 03-3352-1111 (大代表)

次号予告 **marie claire** 10月28日刊行です 28th October, 2021

shop list 掲載商品のお問い合わせ先

アイサ(ヌメロ ヴェントゥーノ) tel: 0120-135-015
ITRIM(イトリン) tel: 0120-151-106
ヴェルサーチェ ジャパン web: www.versace.jp
エルメスジャパン tel: 03-3569-3300
カネボウ化粧品(センサイ) tel: 0120-518-520
クリスチャン ディオール tel: 0120-02-1947
クロエ カスタマー・リレーションズ tel: 03-4335-1750

コスメデコルテ tel: 0120-763-325
コーチ・カスタマーサービス・ジャパン tel: 0120-556-936
ザ・ロウ・ジャパン tel: 03-4400-2656
ジミー チュウ tel: 0120-013-700
チャンネル カスタマーケア tel: 0120-525-519
ドゥ・ラ・メール お客様相談室 tel: 0570-003-770
トッズ・ジャパン tel: 0120-102-578

トリー パーチ ジャパン tel: 0120-705-710
ニールズヤード レメディース tel: 0120-316-999
ハ パルファン・クリスチャン・ディオール tel: 03-3239-0618
パレンシアガ クライアントサービス tel: 0120-992-136
フェンディ ジャパン tel: 03-3514-6187
ヘレナ ルビンスタイン tel: 0120-469-222
ボッテガ・ヴェネタ ジャパン tel: 0120-60-1966

ポーラお客様相談室 tel: 0120-117111
マックスマラ ジャパン tel: 0120-030-535
三崎商事(チヴィディーニ) tel: 03-5520-5011
ミュウミュウ クライアントサービス tel: 0120-45-1993
ランコムお客様相談室 tel: 03-6911-8151
ルイ・ヴィトン クライアントサービス
tel: 0120-00-1854

ニューサイトがスタートしました!

marieclairejapon.com



Welcome to Our Site!